TEAC

画像ファイルビュアソフトウエア

MView/Win PL-A7500J

取扱説明書

このたびはTEAC 画像ファイルソフトウエアMView/Winをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後はいつでも見られるところに大切に保管してください。

目　次

1. はじめに 1

2. インストールのしかた 2

3. 検索のしかた

　検索ソフトの基本的な操作 3

　メニューごとの説明 5

4. ブラウザソフトの使いかた

　ブラウザソフトの基本的な操作 7

　メニューごとの説明 9

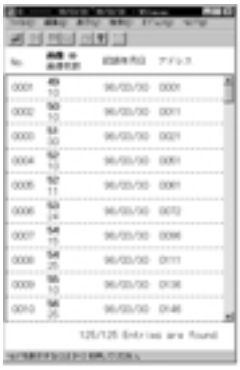
Windowsは米国Microsoft Corp.の商標です。

2001年8月　ティアック株式会社

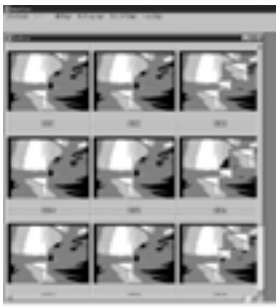
■ 概要

本ソフトウエアは、ティアック(株)製カラー静止画記録装置 MV シリーズにより記録した 3.5 インチ MO ディスク上の静止画像ファイルを、Windows 95/98 で稼働する PC 上で検索し、その画像に対して計測、加工、編集などの処理をするものです。

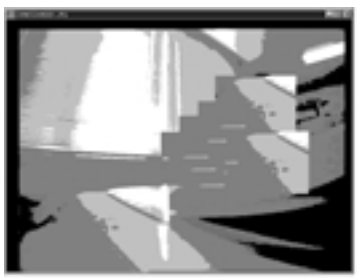
本ソフトウエアは検索ソフトとブラウザソフトとに分かれます。検索ソフトは画像ファイルを画像 ID ／記録日付等をキーとして検索し、検索した画像ファイル群を表示させるためにブラウザソフトに引き渡します。
ブラウザソフトはその画像ファイル群を PC 上に表示し、計測、加工、編集などの処理ができます。



〈検索〉



〈表示〉



〈計測・加工〉

■ 構成品

フロッピーディスク２枚
（PL-A7500 本体 Win95 版）
取扱説明書（本書）

■ 動作環境

コンピュータ　：Windows PC
OS　：Windows 95/98
メインメモリ　：32 MB 以上
VRAM　：16 ビットハイカラー表示が可能なこと
（24 ビットフルカラー表示が望ましい）
MO ドライブ　：3.5 インチ 230MB MO ドライブ

注 意

MV シリーズで記録した MO をパソコンの MO ドライブに挿入するときはライトプロテクトタブを書き込み禁止にしてください。パソコンで書き込んだ MO は MV シリーズで再生できなくなります。

■ おことわり

● 本バージョンでは、つぎのメニューが利用できません。

・ブラウザソフトの「新規作成」
・ブラウザソフトの「プロフィールカーブ」

これらの機能については完成しだいお客様にご連絡し、無償にてバージョンアップさせていただきます。お手数ですが、製品に添付されております「ソフトウエア正規ユーザ登録書」に必要事項をご記入の上、返送ください。

● 本ソフトウエアは検索ソフトとブラウザソフトとに分かれます。検索ソフトを立ち上げずにブラウザソフトを立ち上げることはできません。また、ブラウザソフトを立ち上げてから検索ソフトを終了すると、ブラウザソフトから検索ソフトを立ち上げることはできません。

■ インストールのしかた

1. 付属のインストールディスク「1」を、コンピュータのフロッピーディスクドライブにセットします。（以下、このドライブがAドライブであるものとして説明します。）

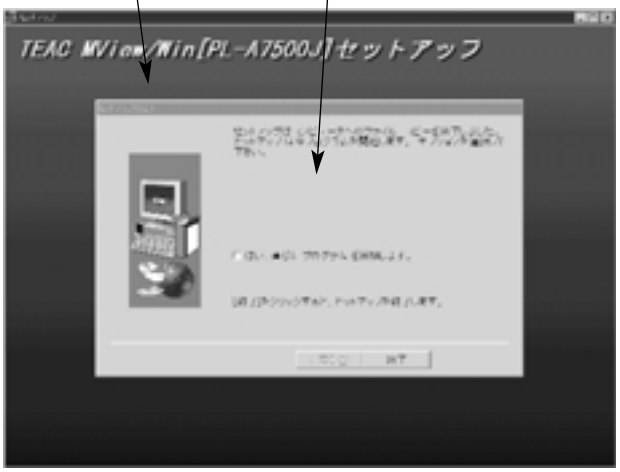
2. Windows 95/98画面のタスクバー左端にある［スタート］メニューを開き、［ファイル名を指定して実行(R)...］をクリックします。

3. ［ファイル名を指定して実行］ダイアログボックスが表示されますので、その［名前(O):］の欄に「a:￥setup」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。（インストーラが起動します。）

4. 以降、画面に表示される案内に従って、セットアップを進めます。

5. もしもインストーラのタイトルバック（青い背景）を表示したまま動作が止まったように見える場合は、

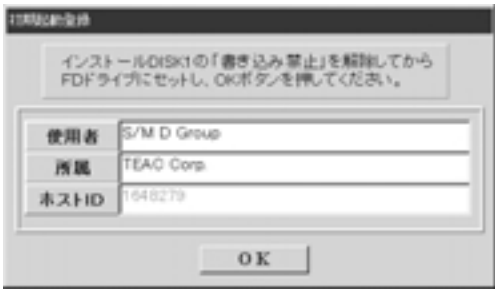
タイトルバックをクリックすると、
セットアップ完了の画面が現れます。



■ ユーザー登録のしかた

インストール後初めて使うときに下記の手順でユーザー登録してください。一度登録すれば、それ以降は不要です。

1. インストール後、初めて本ソフトウエアを起動すると下のウィンドウが表示されます。



インストール時に設定した［使用者］、［所属］、［ホストID］が表示されます。

2. インストールディスク「1」のライトプロテクトを解除してからフロッピーディスクドライブにセットし、［OK］ボタンをクリックします。

3. 本ソフトウエアが起動したらインストールディスク「1」をフロッピーディスクドライブから取り出してください。これで登録は完了です。

検索ソフトの基本的な操作

検索ソフトは画像ファイルを検索し、検索した画像ファイル群をブラウザソフトに引き渡します。検索ソフトの基本的な操作手順は、大きく３つの段階に分かれます。

(1) MO 上の画像情報管理ファイルを開いて画像情報を一覧表示し、
(2) 必要に応じてその一覧を絞り込み、
(3) 一覧の中からブラウザソフトで表示する画像を選択する。

これ以降の操作については次節で説明します。

1. 画像情報を一覧する

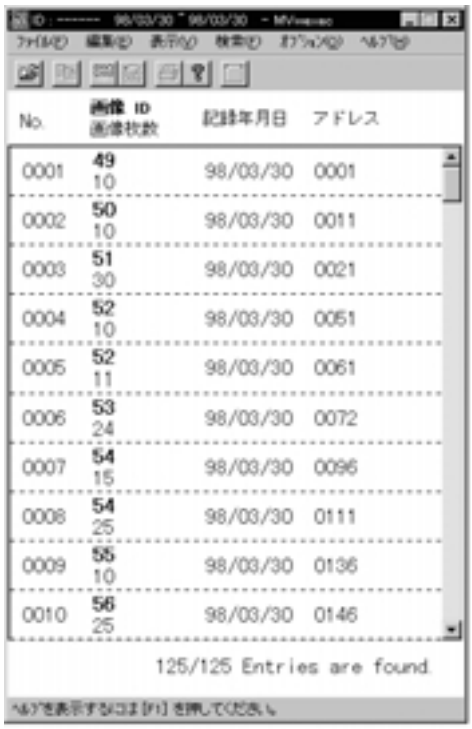
1. 本ソフトウエアのプログラムアイコンをダブルクリックし、検索ソフトを起動します。
2. MO を MO ドライブにセットします。
3. ［ファイル］メニューから［開く］を選択します。

ファイル指定のためのウインドウが現れます。

（MV-50/50M/55M/65/70/71 で記録した場合）

（MV-60M/MV-150/MV-180/EICP-S で記録した場合）

4.「ファイルの場所」で MO ドライブを選択します。
「ファイル名」入力のボックスには、すでに画像情報管理ファイルのファイル名（dir1.mos）が表示されています。
5.［開く］ボタンをクリックします。
同ファイルが開かれ、画像 ID 一覧が表示されます。



画像 ID 一覧について

このリストは、一段ずつが画像を記録した時の１つの ID（1 回の REC STDBY 中に記録した画像群）に対応しています。それぞれの段に、左から、ID の通番、画像 ID ／画像枚数、記録年月日、画像アドレスが表示されています。さらに、マークによる検索を可能にした場合は、MV でマークをつけた画像を含む ID に「＊」が表示されます。

リストには最大で ID10 コ分の情報が表示されます。これを超える ID の情報を表示させるには、ウインドウ右のスクロールバー、またはキーボードの上下矢印キー、Page Up キー、Page Down キーの操作でリストをスクロールします。

このウインドウの上部ウインドウ枠には、MO のディスク ID ・使用開始年月日・最新画像記録年月日が表示されます。

ウインドウの最下部には、MO 上の ID の総数と、後述する「絞り込み」によって絞り込んだ ID の数とが表示されます。

2. 画像IDを絞り込む

前述の画像ID一覧には、MOに記録されているすべてのIDが表示されています。その中から必要なものだけを、ID、記録年月日、アドレスを検索キーにして抽出することができます。

1. メニューバーの［検索(F)］－［絞り込み(S)］をクリックします。

下のウインドウが開きます。

2. 画像ID／記録年月日／絶対アドレスのうち最低１項目を入力します。

※「年」は西暦４桁で入力してください。
※ アドレスの上位の桁の「0」は省略できます。
※ 複数の検索キーを指定すると、それらはAND条件とみなされます。
※ 画像IDについては先頭部分のみの一致によるあいまい検索になります。たとえば、「画像ID＝012」と指定すると、「012」という3桁のIDだけでなく「012」で始まる４桁以上のID（「0123」、「01234」など）も抽出されます。

3. ［OK］ボタンをクリックします。
入力した検索キーにしたがって画像ID一覧が絞り込まれます。

※ この絞り込みは何度でもできます。

《 絞り込んだリスト 》

※ 絞り込んだリストを元に戻すには［検索(F)］－［全データ(A)］をクリックすると、全データが再び表示されます。
※ 絞り込みとその解除は、対応するツールバーのボタンをクリックすることによってもできます。

絞り込み：

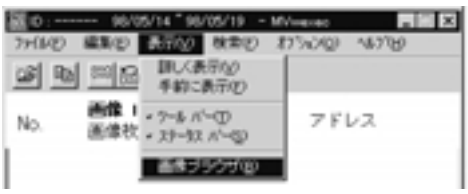
絞り込み解除：

3. 画像を選択する

画像ID一覧の中からブラウザソフトで表示する画像を選択するにはつぎの３つの方法があります。

● 選択するIDの段をダブルクリックする。

● 選択するIDの段を１回クリックし、そのIDを反転表示させてから、メニューバーの［表示(V)］－［画像ブラウザ(B)］をクリックする。



● 上記のようにIDを反転表示させてから、対応するツールバーのボタンをクリックする。

画像ブラウザ：

選択したIDに含まれる画像が表示されます。(p. 7)

メニューごとの説明

検索ソフトの機能をメニューごとに説明します。

■ ファイルメニュー

● 開く(O)

(1) ダイアログボックスが現れ、画像情報管理ファイル名およびドライブ名の指定をうながします。（ただし、画像情報管理ファイル名については、あらかじめデフォルト名が入力されています。）
(2) 指定された管理ファイルを読み込み、その内容に基づいて画像ID一覧を表示します。

※ 一度開いたファイル名は［ファイル(F)］メニューに履歴として残りますので、次回からはこの履歴をクリックすれば開けます。

● 印刷(P)
画像ID一覧の内容を、下記「プリンタの設定(R)」の設定で印刷します。

● プリンタの設定(R)
上記「印刷(P)」で使用するプリンタ、用紙のサイズ、向きなどを指定します。

● アプリケーションの終了(X)
検索ソフトを終了します。

■ 編集メニュー

● コピー(C)

選択しいるID（反転表示させているID）の情報を、クリップボードにコピーします。（右上へつづく）

コピーしたID情報の形式：
「リスト上の番号, "画像ID", "記録開始年月日", "最終記録年月日", 先頭アドレス, 最終アドレス, 画像枚数」
例）
5, "3660 ", "1998/5/14", "1998/5/14", 25, 30, 6

■ 表示メニュー

このソフトのウインドウの体裁、およびブラウザソフトの起動にかかわる操作を行います。

● 詳しく表示(V)
ID一覧には、そのIDに含まれる最初の画像の記録年月日とアドレスが表示されますが、この［詳しく表示(V)］を有効にすると、IDに含まれる最終画像の記録年月日とアドレスも表示できます。

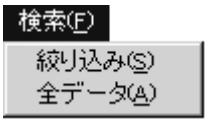
● 手前に表示(F)
これを有効にすると、検索ソフトのウインドウを常に他のウインドウよりも手前（前面）に表示します。ブラウザソフトと併用する場合に、画像ID一覧を常に表示しておきたいときなどに設定します。

● ツールバー(T)
ウインドウ上部のツールバーの表示／非表示を切り替えます。

● ステータスバー(S)
ウインドウ下部のステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

● 画像ブラウザ(B)
ブラウザソフトが起動し、画像ID一覧で選択したIDに含まれる全画像が表示されます。
画像ID一覧からIDを選択したとき（反転表示させたとき）だけ有効です。

■ 検索メニュー



● 絞り込み(S)

(1) この項目を選択すると、検索（絞り込み）キー入力ウインドウが開きます。

(2) 希望の検索キーを入力して［OK］ボタンをクリックすると、その条件でIDが絞り込まれます。

※ 複数の検索キーを指定すると、それらはAND条件とみなされます。

※ 画像IDについては先頭部分のみの一致によるあいまい検索になります。

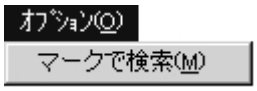
※ 入力した検索キーをすべてクリアするには［Clear］ボタンをクリックします。

※ 絞り込みを行わずにこのウインドウを閉じるには［Cancel］ボタンをクリックします。

● 全データ(A)

それまでに実行した絞り込みの結果がすべて取り消され、画像ID情報の全データが再び表示されます。

■ オプションメニュー

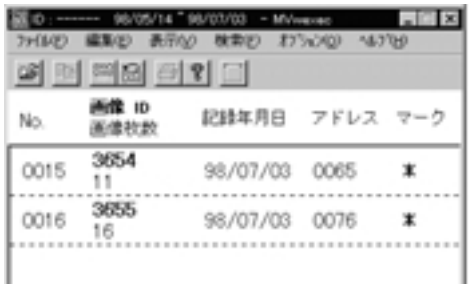


● マークで検索(M)

この機能を可能にすると、MVで「マーク（#）」をつけた画像を含むIDを検索できます。可能にすると、絞り込みウインドウがつぎのように変わります。「画像マーク」を「マーク有り」にすると、マークをつけた画像を検索できます。

※ 可能／不可能を切り替えた場合、その切り替えは次に画像情報管理ファイルを開く時から有効になりますので、切り替えをすぐに有効にしたいときは、管理ファイルを開き直してください。

※［マークで検索］を可能にすると、管理ファイルを開くのに時間がかかります。



《 マークによる検索結果 》

■ ヘルプメニュー

● バージョン情報(A)

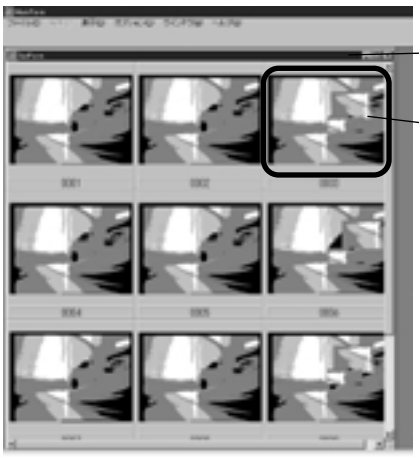
本ソフトウエアのバージョン情報を表示します。

ブラウザソフトの基本的な操作

ブラウザソフトは、検索ソフトで検索、選択したIDに含まれる画像をPC上に表示し、計測、加工、ファイル操作などの処理を可能にします。

- 計測：
  距離計測、面積計測、輝度計測、角度計測
- 加工：
  カラー諧調変換、各種フィルタリング、反転、回転
- ファイル操作：
  画像ファイルの保存、印刷

画像ID一覧の中からIDを選択すると、ブラウザソフトはそのIDに含まれる画像を縮小して１つのウインドウに一覧表示します。



このウインドウを**ブラウザ**と呼び、その中の一つ一つの小さい画像を**縮小ビュー**と呼びます。

つぎに縮小ビューをダブルクリックすると、その画像が拡大表示されます。

このウインドウを**編集ウインドウ**と呼び、表示されている画像を**ウインドウビュー**と呼びます。計測・加工の処理は、このウインドウビューに対して可能になります。

■ ブラウザについて

● ブラウザ分割数

ブラウザに一度に表示する縮小ビューの数は［表示(O)］－［ブラウザ分割数］で変更でき、最大で36コです。１つのIDに含まれる縮小ビューがウインドウに入りきらないときには、スクロール・バーで順次 表示できます。

● 縮小ビューの指定

ブラウザ内の縮小ビューを１回クリックして指定すると、その画像についての印刷やファイル保存、ファイル形式変換が可能になります。これらの操作は［ファイル(F)］メニューの［印刷］、［○○保存］により行います。指定できる縮小ビューは１つだけです。指定すると縮小ビューの下のファイル名表示部分が白くなります。（MVで記録したMOから読み込んだ画像の場合はアドレスがファイル名になっています。）

● 縮小ビューの追加・削除

ブラウザに新たに画像を縮小ビューとして追加したいときは［ファイル(F)］－［開く］で行えます。また、縮小ビューをブラウザから削除したいときは縮小ビューを１回クリックして［ファイル(F)］－［閉じる］で行えます。

■ 編集ウインドウについて

編集ウインドウが開かれているとき、［編集(E)］メニューが有効になり、そのウインドウビューに対する計測・加工が可能になります。

● 計測機能

［編集(E)］－［画像］メニューには［距離計測］［面積計測］［プロフィールカーブ］［２直線の角度］［対基準線角度］の計測機能があります。［距離計測］と［面積計測］の機能を使うには、あらかじめ後述の「キャリブレーション」を実行して、画面のピクセル数と実際の距離との比率を設定しておく必要があります。（p. 13）
計測機能を選択すると、計測結果を表示するウインドウが現れます。ウインドウビュー上の計測点をマウスで指定すると計測値が計測結果ウインドウに表示されます。
計測機能を使うと、クリック／ドラッグした軌跡がウインドウビューに残りますが、計測結果ウインドウを閉じると消えます。この軌跡はウインドウビューを加工したものではありませんので、縮小ビューに反映されることはありません。

● 加工機能

［編集(E)］－［画像］メニューの［カラー階調変換］を選択すると、階調変換を行うためのウインドウが表示されます。このウインドウの中のコントロール・バーを操作すると、ウインドウビューが加工されます。

［編集(E)］－［画像］メニューの加工機能（［シャープ］［一次微分］［スムージング］［ネガティブ］［左右反転］［上下反転］［右 90 度回転］［左 90 度回転］）を選択すると、ただちにウインドウビューが加工されます。

加工したウインドウビューは、［編集(E)］－［ノーマル］で元に戻ります。加工してから編集ウインドウのクローズボタンをクリックすると、編集ウインドウが閉じて、加工結果が縮小ビューに反映されます。この後でも、［ファイル(F)］メニューで保存する前ならば、再び編集ウインドウを開けば、［ノーマル］で元に戻せます。

● 印刷・保存

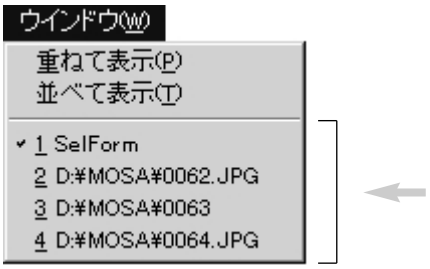
画像の印刷、保存は、編集ウインドウの［ファイル(F)］メニューでもできますし、ブラウザで縮小ビューを指定して［ファイル(F)］メニューで行うことも可能です。加工前の画像でも、加工後の画像でも印刷、保存できます。

■ ウインドウの切り替え

● 編集ウインドウの選択

縮小ビューをダブルクリックするとウインドウビューが表示されます。同じ操作で複数のウインドウビューを開けますが、編集ウインドウとして［編集(E)］メニューで操作できるのは、最後に開いたか、もしくは最後に選択した１つのウインドウだけです。

複数のウインドウビューから編集ウインドウとして選択するには、そのウインドウビューのウインドウを１回クリックするか、［ウインドウ(W)］メニューで一覧の中から選択します。



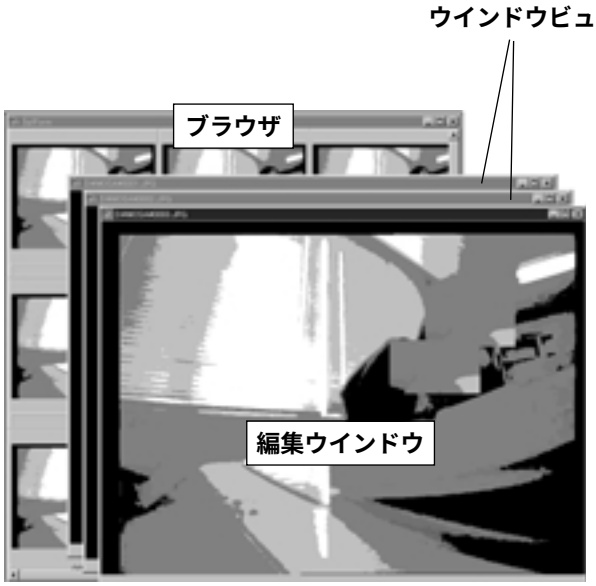
選択したウインドウは、上端のタイトル部分が青色表示になり、他のウインドウのタイトル部分は灰色になります。

● ウインドウビューの表示方法の切り替え

複数のウインドウビューの表示方法は、［ウインドウ(W)］メニューの［重ねて表示(C)］と［並べて表示(T)］とで切り替えられます。

● ブラウザと編集ウインドウの切り替え

編集ウインドウからブラウザに戻るには、ブラウザを１回クリックします。

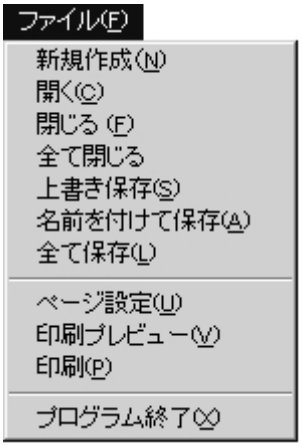


《「重ねて表示」の例》

メニューごとの説明

ブラウザソフトの機能をメニューごとに説明します。

■ ファイルメニュー



● 新規作成(N)

(1) 新規の縮小ビューをブラウザ上に作成します。この時点でファイル名は［未設定］になり、後に保存するときにファイル名の入力をうながします。

(2) ブラウザウインドウが開いていない場合には、ブラウザを開いてから作成します。

● 開く(O)

ブラウザに縮小ビューを追加します。ブラウザが開いていないときには、ブラウザが開かれます。
ダイアログボックスが表示されますので、画像ファイルを指定すると、その画像がブラウザに縮小ビューで表示されます。

● 閉じる(C)

ブラウザで指定した（クリックした）縮小ビュー、または編集ウインドウとして表示している画像をブラウザから削除します。

※［編集(E)］メニューで加工してないものであればただちにブラウザから削除されます。

※［編集(E)］メニューで加工した画像の場合は、これを保存するかしないかを問うダイアログボックスが表示されます。このとき「はい」（保存）を選択すると、同じファイル名で保存します。ファイル名が「未設定」のときは、ファイル名の入力をうながすダイアログボックスが表示されます。保存後、ブラウザから削除されます。

※ ブラウザに縮小ビューが１つだけのとき、その縮小ビューを削除すると、ブラウザウインドウも閉じられます。さらに、その縮小ビューのウインドウビューが開かれていれば、そのウインドウも閉じられます。

● 全て閉じる

ブラウザ内のすべての縮小ビューについて、上記 ［閉じる(C)］と同じ処理をします。

● 上書き保存(S)

ブラウザで指定した縮小ビュー、または編集ウインドウとして表示している画像を同じファイル名で保存します。ファイル名が「未設定」のときは、ファイル名の入力をうながすダイアログボックスが表示されます。

● 名前を付けて保存(A)

ブラウザで指定した縮小ビュー、または編集ウインドウとして表示している画像を、あらたなファイル名で保存します。
ダイアログボックスが表示されますので、保存する場所を選択し、ファイル名を入力してください。

● 全て保存(L)

ブラウザ上のすべての縮小ビューについて、上記 ［上書き保存(S)］と同じ処理をします。

● ページ設定(U)

下記の［印刷(P)］で印刷する際の用紙のサイズ、向き、余白などを設定します。

● 印刷プレビュー(V)

ブラウザで指定した縮小ビュー、または編集ウインドウとして表示している画像を印刷する際のプリントイメージを表示します。

● 印刷(P)

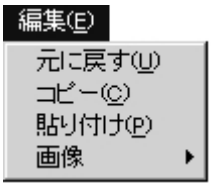
ブラウザで指定した縮小ビュー、または編集ウインドウとして表示している画像を印刷します。

● プログラム終了(X)

［すべて閉じる］の処理を行い、ブラウザソフトを終了します。

■ 編集メニュー

このメニューに含まれる機能は、編集ウインドウとして表示しているウインドウビューに対してだけ有効です。ブラウザの状態では編集メニューは無効です。



● 元に戻す(U)

編集ウインドウの画像を、直前の操作（[元に戻す(U)] [貼り付け(P)] ［画像］の処理）が行われる前の状態に戻します。

● コピー(C)

編集ウインドウの画像を、クリップボードにコピーします。

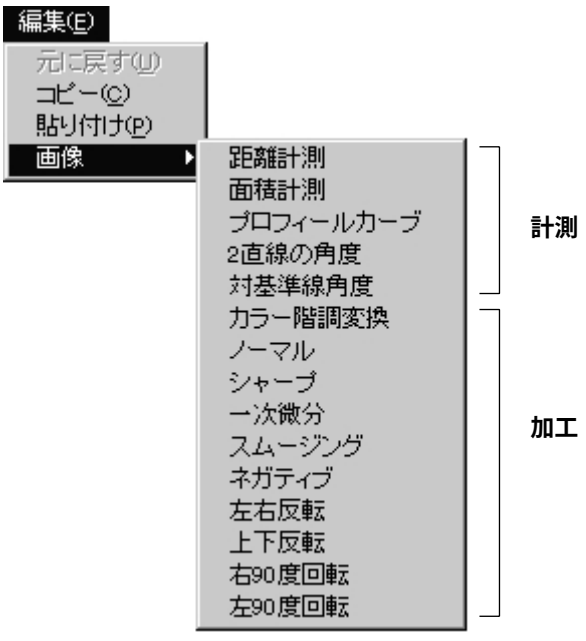
● 貼り付け(P)

クリップボード上の画像を、編集ウインドウに貼り付けます。

● 画像

下記の［画像］メニューで説明します。

■ 画像メニュー



［画像］メニューには計測機能と加工機能があります。

※ 計測機能のうち「距離計測」と「面積計測」の機能を使うには、あらかじめ後述の「キャリブレーション」で、実際の距離とグラフィック画面のピクセル数との比率を設定しておく必要があります。（p. 13）

● 距離計測

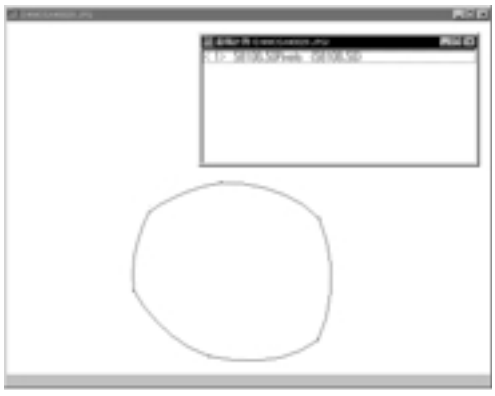
(1) 本機能を選択するとまず、計測結果を数値表示するウインドウが表示されます。

(2) 編集ウインドウ上で距離計測の始点をクリックし、終点までドラッグします。

(3) ２点間の距離が、ピクセル数と物理量（カッコ内）で測定結果ウインドウに表示されます。

● 面積計測

(1) 本機能を選択するとまず、計測結果を数値表示するウインドウが表示されます。



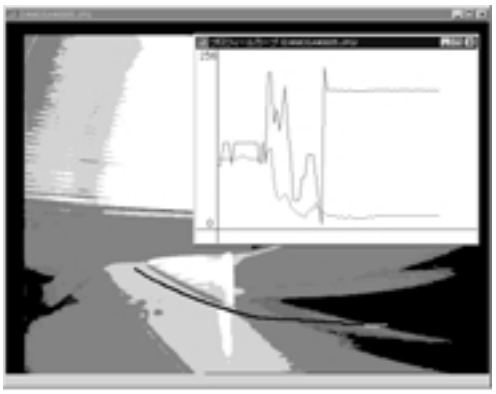
(2) 編集ウインドウ上で、面積を計測する部分の輪郭をなぞるように順次クリックします。囲み終わった所でダブルクリックします。

(3) 囲んだ部分の面積が、ピクセル数と物理量（カッコ内）で測定結果ウインドウに表示されます。

● プロフィールカーブ

開曲線上の RGB 各色の輝度レベルをグラフで表示できます。

(1) 本機能を選択するとまず、計測結果をグラフ表示するウインドウが表示されます。



(2) 編集ウインドウ上で、RGB 各色成分の推移を求めたい所を通る曲線を描く要領でその開曲線にフィットする極点を順次、クリックします。最後にその開曲線の終点でダブルクリックします。

(3) 開曲線上に分布する RGB 各色成分が、その色の折れ線でグラフで表示されます。グラフの縦軸は RGB 各色の輝度レベルを 0 から 255 までの値で示し、横軸は開曲線の始点から終点までの通過点のドット位置を示します。チェックボックスの R、G、B は、チェックされている色成分のみがグラフ表示できるよう選択するためのものです。

● ２直線の角度

(1) 本機能を選択するとまず、計測結果を表示するウインドウが表示されます。

(2) 編集ウインドウ上で、測定を希望する角度を構成する最初の直線の始点でクリックし、終点までドラッグします。

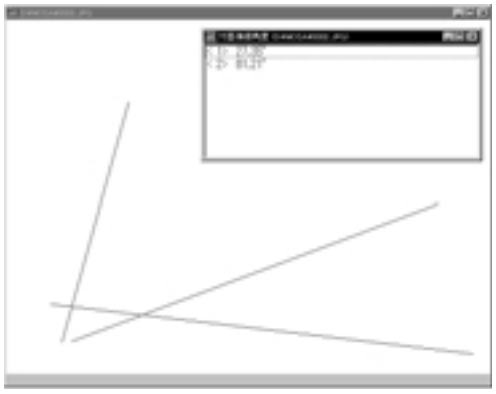
(3) 角度を構成するもうひとつの直線の始点でクリックし、終点までドラッグします。

(4) ２直線ではさむ角度が、測定結果ウインドウに表示されます。

※ 引き続き同じウインドウで２直線の角度を測定できます。この場合、表示される角度は、奇数番目に引いた線に対する偶数番目に引いた線の角度です。

● 対基準線角度

(1) 本機能を選択するとまず、計測結果を表示するウインドウが表示されます。



(2) 編集ウインドウ上で、測定を希望する角度を構成する基準線の直線の始点でクリックし、終点までドラッグします。

(3) 基準線と角度を構成する直線の始点でクリックし、終点までドラッグします。

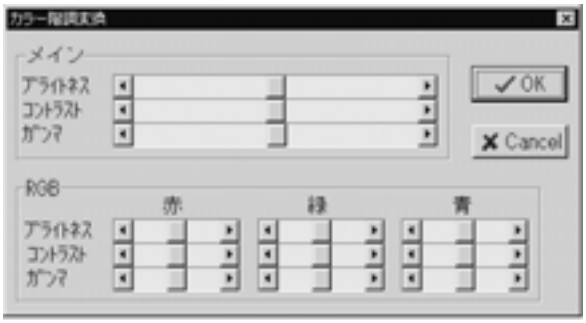
(4) ２直線ではさむ角度が、測定結果ウインドウに表示されます。

※ 引き続き同じウインドウで直線を引くと、最初に引いた基準線に対する角度を測定できます。

［カラー階調変換］から［左 90 度回転］までは編集ウインドウの画像を加工する機能です。

● カラー階調変換

(1) 本機能を選択すると、階調変換を操作するダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスには、ブライトネス／コントラスト／ガンマの各輝度レベルを操作するスクロールバーが表示されます。



(2) 操作したい輝度レベルのスクロールバーをドラッグしマウスボタンを放すと、階調変換の結果が画像に反映されます。このダイアログボックスを開いている間ならば、何度でもこの操作ができます。

● ノーマル

加工した画像を、その画像ファイルを開いたときの状態に戻します。

［元に戻す］との違い：
前述の［元に戻す］では加工後にウインドウビューから縮小ビューに戻した画像を元に戻せませんが、［ノーマル］では再びその画像の編集ウインドウを開けば元に戻せます。また、複数の加工処理を行った場合、［元に戻す］では直前の加工しか取り消せませんが、［ノーマル］ではファイルを開いてからのすべての加工を取り消して最初の状態に戻せます。

● シャープ

画像の輝度変化の大きい部分を強調します。

● 一次微分

画像の輪郭を鮮明にします。

● スムージング

画像の輝度変化の大きい部分を滑らかにします。

● ネガティブ

画像を陰画に変換します。

● 左右反転

画像の左右を反転します。

● 上下反転

画像の上下を反転します。

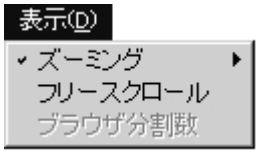
● 右 90 度回転

画像を右に 90 度回転します。

● 左 90 度回転

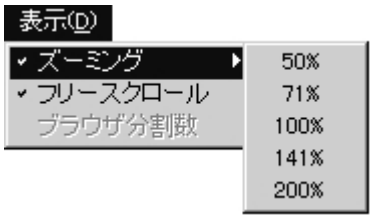
画像を左に 90 度回転します。

■ 表示メニュー



● ズーミング

編集ウインドウの画像を拡大／縮小します。



比率を選択すると、ただちに画像表示が拡大／縮小されます。

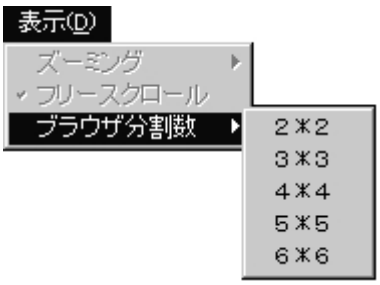
※ この画像表示の大きさの変更は、画像を加工するものではありませんので、縮小ビュー、画像ファイルへの影響はありません。

● フリースクロール

この機能を可能にすると、ウインドウビューをドラッグして動かせます。

● ブラウザ分割数

ブラウザに一度に表示できる縮小ビューの数を 4～36 コの範囲から選べます。



分割数を選択すると、ただちにブラウザに反映されます。

■ オプションメニュー

● キャリブレーション

「距離計測」と「面積計測」で用いるパラメータを設定します。

実際の距離と、グラフィック画面のピクセル数との比率を整数で入力します。
たとえば 1 cm が画像上の 100 ピクセルに相当するならば、「Cal 値」には「１」と、「Pixels」には「100」と入力します。

※ 距離計測と面積計測の測定結果ウインドウには単位が表示されませんので、ここでどんな単位で設定したかをメモしておいてください。

※ この設定は保存されませんので、ブラウザソフトを立ち上げるたびに設定してください。

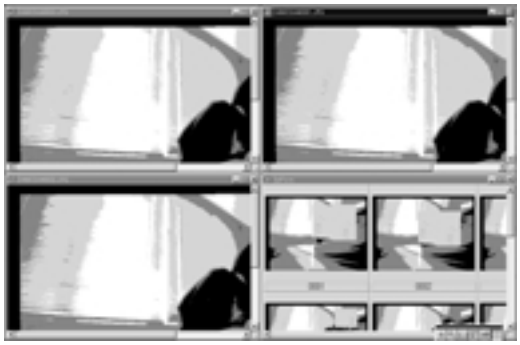
■ ウインドウメニュー

● 重ねて表示(C)

開いているブラウザ、ウインドウビューを、それらをアクティブにした順に下から重ねて表示します。

● 並べて表示(T)

開いているブラウザ、ウインドウビューを並べて表示します。



《「並べて表示」の例》

● アクティブウインドウの指定

「重ねて表示」、「並べて表示」の下には、開いているブラウザ、ウインドウビューが開いた順にリストされます。このリストからクリックすると、そのブラウザ、ウインドウビューがアクティブになります。

ティアック株式会社

製品に関するお問い合わせは･･･	情報通信グループ	〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3 TEL 0422-52-5010　　FAX 0422-52-1390
	同大阪出張所	〒564-0062　吹田市垂水町3-34-10 TEL 06-6384-7384　　FAX 06-6385-8849
技術的なお問い合わせは･･･	ＣＳグループ	TEL 0422-52-5095　　FAX 0422-53-9823
	受付時間　9:30～12:00／13:00～17:00（土・日・祝日を除く）	
TEAC情報機器関連ホームページ	http://www.teac.co.jp/ipd/	
E-mail	ipd-mv@ho.teac.co.jp	